

地域歴史散策「大久保の古代ロマンを歩く」

- ◆日時：令和4年11月11日（金）9時～12時
- ◆内容：大久保地域の文化財や史跡を散策しながら学ぶ
- ◆コース：大久保神社⇒観音寺⇒神明寺古墳⇒塚山古墳
- ◆講師：杉浦 健治氏（地域歴史研究家）

①大久保公民館



散策の出発地である大久保公民館の敷地には、「古貝戸遺跡」（古墳時代）があります。この遺跡からは、土師器や須恵器といった土器が出土しています。

☞ 別添「参考資料」3頁を参照

②宿宮前遺跡



大久保小学校の先の二股道を右に行き、大久保神社へ続く道をしばらく歩くと、左側に「宿宮前遺跡」（古墳～中世時代）があります。この遺跡からは、瓦などが出土しています。

☞ 別添「参考資料」3頁を参照

③大久保神社



市指定有形文化財である大久保神社は江戸時代に建立されたと考えられています。

また、「大久保神社社叢」は、市指定天然記念物です。社叢とは神社の森のことです。現在は古いケヤキ林となっています。

☞ 別添「参考資料」4頁を参照

④ 観音寺



四脚門、観音堂、阿弥陀如来三尊像が市指定有形文化財になっています。四脚門と観音堂は、江戸時代に建立されたと思われ、三尊像は室町時代の作とされています。

また、大久保神社との間には安保氏に
関係する館跡と考えられる「宿の城」が
位置しています。

👉 別添「参考資料」4頁を参照

⑤ 神明寺古墳



鴨川流域に位置する「大久保古墳群」
の一つです。東側が削られています、
直径16m、高さ3mの円墳です。

古墳の周辺から円筒埴輪の破片が採集
されていることから、6世紀に造られた
古墳であると考えられています。

👉 別添「参考資料」7頁を参照

⑥ 塚山古墳



「大久保古墳群」の一つで、明治・大
正期に前方部が削られてしまったため、
後方部が残されているだけです。後方部
の径は35m、高さは6mです。

前方後円墳と考えられてきましたが、
近年、前方後方墳の可能性が論じられて
います。

👉 別添「参考資料」9頁を参照

※ 説明文については、さいたま市ホームページなどを参考にしています。

※ 詳しくは、別添「参考資料」を参照してください。

【お願い】

- ・ 散策の際には、文化財の所有者や管理者の迷惑とにならないようお願いします。
- ・ 大久保神社、観音寺は外観のみの公開です。
- ・ 神明寺古墳、塚山古墳の敷地内への立ち入りはご遠慮ください。